マラウイ通信

渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院

【鶏】食肉用として生きた鶏が道端に売られています。１羽約2,800MK（約400円）です。マラウイの家庭では生きた鶏を捌いて食べるという事は至って普通で、誰もができる作業です。最初は違和感がありましたが、歩いている人、あるいは車の中で生きた鶏を抱えている光景をよく見かけます。時には自転車に大量の鶏（１０羽以上）をハンドル部分に吊り下げている事もあります。一般庶民からすると少し値段が高いので、頻繁に購入する事はないかもしれませんが、マラウイでは身近な食材の一つと言えるでしょう。鶏にはハイブリッドチキンとローカルチキンと呼ばれる二種類の鶏があり、後者の方がコリコリしており人気度が高いです。日本では普段、パックに詰められ、陳列されているお肉を購入しますが、こうして生きた鶏を購入し、家に持ち帰り捌いて食す事で改めて食や命の有難さを実感させられます。ちなみに自分では捌かずにマラウィアンにお願いしてます。

【手洗い】水事情の厳しいマラウイの病院では、写真の様なタップ付きバケツに水を貯め使用します。この中の水も自信を持って綺麗な水とは言えないのですが、ちゃんと石鹸を用いて手洗いを行います。実際に手洗いの状況としてはかなり悪いです。医療現場において徹底すべき手洗いですが、マラウイのでは頻度もやり方も十分なものとは言えません。５Sを広げる中、この手洗いも課題の一つとなっていますが、習慣として手洗いを向上されるのには一筋縄ではいきません。水がない現状も理解しているので複雑な心境です。

【後記】先日久しぶりに体調を壊してしまいました。ふと思い返せば、しばらく体調を壊していない事に気づきました。体調を崩した時にいつも助けてもらっているのが日本のスポーツ飲料。病院に行くこともできないので、ひたすら水分を取るなどして対処しています。ちなみに私は病院で働いていますが、緊急事態の際は自分の病院ではなく首都にある病院まで搬送される事となっています。働いている病院を批判する訳ではありませんが、マラウイの県立病院レベルでは十分な医療を受けられるとは言えません。まずは、自己管理を大切に過ごしたいと思います。

【穴ぼこ修理】マラウイの道路は国道も含め、状態の悪い物ばかりです。Ｍ１と呼ばれる（日本で言う国道１号線）道路ですら完璧な状態とは到底言えません。写真の道路は大きなメイン道路ではありませんが、こういった道路は尚更、国によって修繕されることは滅多にありません。ですので、近所の住民又は子供達が自らレンガや小石を詰めて凸凹を無くしています。この作業には二つの目的があります。当然一つ目の目的は道路の修繕です。いつまで経っても修繕されることの無い道路をほっておくこともできず、自ら作業してくれているのだと思います。そして二つ目の目的は仕事です。マラウイでは仕事も持てない人が数多くおります。ですので自分たちで仕事を見つけて働き、一般の人からお金をもらう。このような事も日常的にあります。今回の道路の修繕においても、修繕している人は車のドライバーにお金を求めます。すると通行車両のドライバーは感謝の気持ちでお金をあげているようです。初めて見た時は何で子供たちが道路を修繕しているのだろうと思いましたが、近づくとお金をくれと求めてきます。この様に自ら仕事をし、お金を求める行為。マラウイでは様々な場面で見られます。